

「三山木地域区・自治会連携促進協議会」ワークショップまとめ

実施日：2021年12月4日

グループ	項目	内容
1 コミュニティ	魅力	親しい友達いない→知り合いを作る場が欲しい
2 コミュニティ	魅力	親同士の年齢が近くて話しやすい
3 コミュニティ	魅力	顔見知りの方が多く安心して暮らしやすい
4 コミュニティ	魅力	転入者が増え新しい風が入り、いろいろ改革・改善される（前進）
5 コミュニティ	課題	近所つき合いが希薄
6 コミュニティ	課題	高齢世帯と若い世帯のジェネレーションギャップが大きい
7 コミュニティ	課題	大人の女性の集まる場欲しい
8 コミュニティ	課題	新旧住民の交流の場がない（交流したい）
9 コミュニティ	課題	地域の魅力が各地域の少子高齢化によりなくなりつつある
10 コミュニティ	課題	転入者の交流●● 役員 その他
11 コミュニティ	課題	転入者の中にも行動派の方もおられ協力体制が築かれれば良い。
12 コミュニティ	課題	保守的な考えを護りつつ発展する方法
13 コミュニティ	課題	周囲に遠慮することなく言い合える関係
14 コミュニティ	課題	高齢独居の方も多くなってきており、地域の見守りも必要
15 コミュニティ	課題	地域（ご近所さん）との関わりの「きっかけ」は『子ども』を通じてが多いが、育児休暇中や子どもが小さい時期は、その「きっかけ」のタイミングがあるが、仕事を始めてからや、子供が大きくなってからは、なかなかその機会がなくなる。→（正直、仕事があるので参加できる気はしないが…）子どもを通してでない、 大人の女性の集まりがあってもおもしろそう。昔ながらの婦人会は嫌だけど…。
16 コミュニティ	課題	新旧住民の交流がないのみならず、旧住民間の交流（少子高齢化で行事がなくなったり）がなくなっている。
17 コミュニティ	課題	高齢化が進めば車での移動ができなくなり地域でのつながり（徒歩圏で行けるところ）がより必要になる。
18 コミュニティ	課題	孤立孤独の問題を発生させないために、徒歩圏内での交流の場を作るべきだと思う。
19 コミュニティ	課題	残念ながら魅力や良いところは思いつかない。物も少なく不便な昔の時代が懐かしく、楽しかった事を思う。今は物が溢れ、ボタン一つでなんでもできる。それゆえに昔のように隣近所の助け合いなど必要なく暮らせる。核家族化により大きい家で一人暮らしが多くなってきた。少子化も追い打ちとなり村の中はシーンとしている。子どもたちは塾などで忙しいのか外で遊ぶ姿もない。もう昔のような八百屋・魚屋・酒屋の小売店がない。大型スーパーとなり店での コミュニケーションがなく人のつながりが薄れている。
20 コミュニティ	課題	みんなで住み良い街にしていこうという意識は低い （多様化が進んでいる）
21 コミュニティ	課題	区と関わりたくない方もおられ、この方たちとも自然と関われる方法。
22 コミュニティ	課題	新旧の住民交流がない

23 区・自治会	魅力	子育て世代が多いコミュニティ
24 区・自治会	魅力	若い世代の流入でまちに活気がでてきている
25 区・自治会	魅力	新興住宅地
26 区・自治会	魅力	近所付き合いが有る
27 区・自治会	魅力	若い世代が多い
28 区・自治会	魅力	子供会が有る
29 区・自治会	魅力	多様な人が集まっている地域
30 区・自治会	魅力	区役員選出がブロック別となっている
31 区・自治会	課題	各区長・自治会長の業務が多い
32 区・自治会	課題	他自治会区の情報共有できてなかった
33 区・自治会	課題	ゴミステーションの確保がまばら 個別に出している通りも有
34 区・自治会	課題	自治会活動に理解を得られない
35 区・自治会	課題	空地も有り管理不十分 雑草茂る
36 区・自治会	課題	核家族、古くからの住宅無
37 区・自治会	課題	区全体の軒数が少なく役職が重複
38 区・自治会	課題	人員不足
39 区・自治会	課題	各個人の考え方の違い（役員コミュニケーションとれない）
40 区・自治会	課題	男性が表に出てこない
41 区・自治会	課題	区役員の新旧混合体制の確立（区行事に関心と協力体制）
42 区・自治会	課題	行政区の合併
43 区・自治会	課題	地域に関わる人材の確保
44 区・自治会	課題	役員になる人がいない 同じ人ばかり
45 区・自治会	課題	行事をしてもいつも同じ顔触れである
46 にぎわい	魅力	医院、整骨院等の医療施設がある
47 にぎわい	魅力	普賢寺のふれあいのえきなど近く楽しい 愛着感じる
48 にぎわい	魅力	飲食店も集まっていてコンビニ店、ドラッグストア、スーパー有 生活面充実
49 にぎわい	課題	大型商業施設がほしい
50 にぎわい	課題	買い物や外食で専門店が少ない 三山木の外にでる
51 にぎわい	課題	三山木駅 立派だが閑散 楽しい場所欲しい
52 にぎわい	課題	働く場所が少ない
53 にぎわい	課題	B級グルメ等の名物がない
54 にぎわい	課題	高齢者世帯増加に向け、歩いて行ける距離に買い物ができる店
55 にぎわい	課題	駅前の商店が少ない
56 にぎわい	？	駅前マンション 同志社山手人口増加 公立幼稚園
57 交通	魅力	車なら便利 精華・奈良に近い
58 交通	魅力	近鉄・JRの利便性
59 交通	魅力	交通機関をはじめ、インフラが整備されている
60 交通	魅力	JR・近鉄駅があり、駅前ロータリーが整備されている
61 交通	魅力	京都・大阪アクセス良好
62 交通	課題	飲んで帰った時バスがなく不便
63 交通	課題	大学の最寄り駅が3つあるが、列車の発着本数を増やす

64	交通	課題	同志社山手から市役所行くのが大変
65	交通	課題	府道井手～生駒線の渋滞
66	交通	課題	山本区内主要道の通り抜け
67	交通	課題	区内道路整備
68	交通	課題	旧府道の歩道を作ってほしい
69	交通	課題	交通の便 バスも三山木まで 市役所や田辺、松井山手方面へのアクセスが不便
70	イベント行事	魅力	山本区 祭り有る
71	イベント行事	魅力	伝統行事（おんごろどん）がある
72	イベント行事	魅力	伝統行事が残っている
73	イベント行事	魅力	伝統的風習が残っている おんごろどん 佐牙神社（湯立） ※産物 えびいも、茄子、タケノコ
74	イベント行事	課題	事業への参加少ない
75	イベント行事	課題	秋祭り等イベント交流やる人少ない
76	イベント行事	課題	イベントをやっても参加者が限られている 活気がないイベント
77	イベント行事	課題	公民館 もっと活用したい
78	イベント行事	課題	三山木駅前ひろばの活用
79	イベント行事	課題	地域を活性化するには、同志社大学と連携して駅周辺でのイベント等
80	イベント行事	課題	祭り行事 文化を感じるシンボルが欲しい
81	イベント行事	課題	親睦会 祭りなどの行事参加率が少ない
82	イベント行事	課題	事業への参加が少ない
83	施設環境	魅力	高齢者向き施設がある
84	施設環境	魅力	公園大きくて、花壇も手入れされててキレイ
85	施設環境	魅力	児童公園がある
86	施設環境	魅力	南部住民センターに期待している
87	施設環境	課題	スポーツ施設の充実
88	施設環境	課題	三山木区に歯医者が少ない
89	施設環境	課題	三山木地区に総合病院がない
90	施設環境	課題	区内公園整備
91	住環境	魅力	生活するには今の現状がいい
92	住環境	魅力	大きな工場等がなく静かでいい
93	住環境	魅力	安全安心の街
94	住環境	魅力	区画整理されていて環境整備OK
95	住環境	課題	公園・駅前ロータリー監視カメラの設置を たむろしやすい
96	自然環境	魅力	自然豊かで都市部が近い
97	自然環境	魅力	自然と歴史に関する資源がある（寺・神社）
98	自然環境	魅力	山があり、田園があり、神社・寺等昔の自然が残っているところ
99	自然環境	課題	自然と歴史に関する資源での観光での活用が少ない
100	自然環境	課題	竹林の整備
112	子ども	魅力	保育所、幼稚園、小学校などの施設がある
113	子ども	魅力	子ども多くてにぎやか
114	子ども	魅力	遊び友達が多く、子どもに良い環境

115	子ども	課題	子どもを連れていける場所が欲しい 駄菓子屋とか
116	子ども	課題	通学路の車両スピード
104	同志社大学	魅力	学生マンション、単身者マンションも多くあり人口多い
105	同志社大学	魅力	同志社大学学生多い
106	同志社大学	課題	地域活動に学生を取り込めていない
107	同志社大学	課題	女学生マナー悪く、夜中でも大声でしゃべったり叫んだりする
108	災害	魅力	災害が少ない
109	災害	魅力	大きな差異がなく住みやすい
110	災害	魅力	水害のない地域である
111	災害	課題	災害発生時道路が狭く、消防車・救急車が入れない
101	防犯	課題	小学校から同志社山手に抜ける道路が暗く防犯上不安
102	防犯	課題	中学生による自転車通学の改善による安全の確保
103	防災	課題	緊急時区内を往来できる道路（幅）がない
117	文化	魅力	観光資源の乏しい本市で、魅力は昔から地域に存在し継続されているもの